

## 第4回 苫小牧市食育推進協議会

日時 平成 29 年 8 月 8 日 (火)  
18 時 30 分 ~ 19 時 15 分  
場所 市役所本庁舎 9 階 議会大会議室

### 次第

#### 1 開会

#### 2 議事

- (1) 苫小牧市食育推進計画(素案)の変更について
- (2) 苫小牧市食育推進計画に係るパブリックコメントの結果について
- (3) その他

#### 【事務局より計画(素案)の変更点の説明】

事務局	<p>議事 1 の変更点について御説明させていただきます。</p> <p>5 月の第 3 回苫小牧市食育推進協議会にて、委員の皆様からたくさんの御意見をいただきました。具体的には、目標値、文字の量、表現方法、レイアウト、見やすさ等につきまして、事務局で精査を行い、図表の重複表示もあったため、こういったものを精査、修正したものでパブリックコメントを行いました。これに伴い、主に変更を加えた 10 点について、御説明いたします。</p> <p>まず、お手元の資料 1 ページの目次の部分です。全体の構成を章立てし、さらにその内容を細分化しております。これに伴い、第 3 章の項目の説明順が一部変更になっております。</p> <p>次に、3 ページの「食育に関する市民アンケート調査」、「6 パブリックコメント(市民意見提出手続)」を追加しております。</p> <p>次に、8 ページの図表 4 です。以前お配りしたものでは、図表のタイトルが「総人口の推移」と「年齢 3 区分人口」の 2 つに分かれていましたが、今回の修正により一本化しております。また、資料元を「住民基本台帳(各年 9 月末日) 推定値は苫小牧市人口及び総合戦略を参考」から「苫小牧市人口ビジョン及び総合戦略」へと変更しております。</p> <p>次に、11 ページの図表 11 です。小中学校の肥満傾向児の出現率について、図表内で各小学校、中学校全体の平均値を黒縁で表記しております。</p> <p>次に、14 ページの図表の 17 です。「12 歳児の一人平均むし歯数の推移」の中で、前回までは平成 27 年度の数値だったのですが、平成 28 年度の確定数が出ましたので、今回の資料から確定数を追加表記し、説明文を一部修正しております。</p> <p>次に、22 ページのコラムですが、前回の資料には掲載しておりませんでした。今回から「野菜を 350g 食べるには？」を追加しております。</p> <p>次に、30 ページの「4 課題の整理」という章題です。前は「(1) 基本理念」、「(2) 基本目標」と表記していましたが、別途記載し、明確化を図りました。</p>
-----	--

	<p>次に、38ページの苫小牧地方食品衛生協会についてです。先日データ提供がありましたので、今後挿入していきます。</p> <p>次に、47ページの「第6章 食育推進にあたっての数値目標」ですが、やせの割合の現状値を前回までは、20～30代の女性の平均としておりましたが、12ページの説明の中で30代女性が高いと表記していることから、今回は30代女性を27.7%に変更しております。</p> <p>次に、同じページの中段、「いただきます」、「ごちそうさま」の挨拶をする人の割合の現状値を、前回までは50歳代以降と表記しておりましたが、23ページの説明に合わせ、食育に関するアンケート調査対象となる市民全体へと変更しております。</p> <p>最後に48ページの「第7章 計画の推進体制」ですが、ここでは49ページの内容を具体化し、イメージ図の中に盛り込んだという形で表現を変更しております。</p> <p>また、先ほど田崎委員長から御指摘を頂戴した、19ページの図表28ですが、漢字の間違ひがありましたので修正いたします。また、20ページの上部にあります「【資料】苫小牧市食育に関するアンケート調査」は、前ページからの段落ずれになっておりますので、修正いたします。</p> <p>以上でございます。</p>
--	---

#### 【質疑応答】

委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>事務局から10点、誤字、段落の修正について御説明いただきました。</p> <p>実は本協議会開催前に事務局と打合せを行いまして、20ページの図表30に係る「資料」の標記が1文字空いていること、また各説明文中で段落が下がっていないことについて、指摘をしたところでした。</p> <p>このような表記の仕方も含めて、委員の皆様から御意見、御質問はありますか。</p>
委員	<p>表記方法についてです。例えば19ページですと、説明文の最後が「(図表27)。」となっておりますが、以前いただいたものは「。(図表27)」となっております。</p> <p>句点の打ち方が変わっていますが、何か意図があったのでしょうか。</p>
事務局	<p>公文書ルールを見直したところ、括弧の後ろに句点を打つというのが正しかったため、このように修正いたしました。</p>
委員	<p>わかりました。</p>
委員長	<p>私から1点申し上げたいと思います。</p> <p>45ページ上部に記載されている「学校法人駒澤大学苫小牧駒沢大学」と書いてある部分があります。こちらは私が担当している事業でして、修正したいという要望をしております。明日メールで修正案を事務局に送る予定です。</p> <p>それでは、議事2の苫小牧市食育推進計画に係るパブリックコメントの結果について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>パブリックコメントの結果について御説明いたします。</p> <p>本市では、市が政策、規則を定める際に、市民参加の観点から、あらかじめ政策案や規則案などを公表しております。</p>

	<p>本計画におきましても、市民自治によるまちづくりの考え方が反映されるよう、平成29年6月20日から平成29年7月19日までの30日間パブリックコメントを実施いたしました。</p> <p>意見募集の方法ですが、市内の各コミュニティセンターをはじめ、ココトマ、市民活動センター、植苗ファミリーセンター、勇払出張所の合計8か所に資料を設置しました。</p> <p>また、市ホームページや新聞で意見募集記事を掲載し、インターネット、電話、FAXでの応募を受け付けて参りました。</p> <p>その結果、本計画に際しての市民からの意見、要望等はなく、素案の内容に修正、変更はありませんでしたので御報告いたします。</p> <p>以上でございます。</p>
委員長	意見はないとのことでした。提出件数がないというのは一般的なことなのですか。
事務局	<p>一般的には、計画や規則に対しては、あまり意見が多いとはいえません。あったとしても、1～3件程度と記憶しております。</p> <p>市民の方々からの意見がなかったことについては、皆様に御意見を頂戴しながら、修正、変更した結果と考えております。</p>
委員長	パブリックコメントについて、皆様から御意見、御質問はありますか。
委員	パブリックコメントについては、私も経験がありますが、市民への周知方法がよろしくないという考えをもっています。つまり、市民の方の目に触れる機会があまりない。もう少し、周知方法を考えたほうがよろしいのではないかと考えます。
委員	<p>私も農業委員会に出席した際、パブリックコメントをした経験があります。</p> <p>パブリックコメントは、市の通常の手続きに沿って進めると何も反応がないことが多い。</p> <p>しかし、民報等に掲載したところ、いくつか反応がありました。</p> <p>つまり、市民の方々により理解してもらうためには、もっとマスコミを活用したほうが良いと思うのです。今回も「市役所便り」にて開催を周知していましたが、そもそも「市役所便り」の記事が小さく、見にくいということもあると思います。</p>
委員	<p>興味、関心をもっていない方から反応をいただくのは難しいですね。でも、だからこそ、具体的な方法を検討する必要があると感じました。</p> <p>例えば、興味がある方は「食育」の文字が目に入ることもあると思いますが、興味がない方の目にとまるためには、さらに工夫する必要があると感じました。</p>
委員長	<p>皆様ありがとうございました。</p> <p>ほかに意見はないようですので、議事3のその他について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>食育推進計画と関連のある健康増進計画の概要について御説明いたします。</p> <p>資料2を御覧ください。</p> <p>健康増進計画についてですが、健康増進法第8条第2項において、市町村は、都道府県健康増進計画を勘案して、住民の健康増進の推進に関する施策についての計画を定めるよう努めることとなっています。</p>

	<p>本市では、第1次計画である健やかとまこまい step1 としまして、平成25年度から29年度までの5か年の計画がございます。その概要としましては、生活習慣の改善、生活習慣病の予防、そして、良好な健康づくり環境といった基本方針を掲げ、各種の事業に取り組んでまいりました。</p> <p>現在は第2次計画の策定にとりかかっておりますが、下段に記載されております3つの方針、生活習慣病対策、がん対策、自殺対策という視点をもった第2次計画を策定しているところでございます。</p> <p>健康増進計画は食育推進計画とも深く関連がございますので、これまでの協議会の議論なども参考にさせていただき、第2次健康増進計画の策定を進めてまいります。</p> <p>次に、日本女性会議について、オレンジ色のパンフレットを配付させていただきました。10月13日から15日まで、日本女性会議2017とまこまいが開催されます。内容について、中を御覧ください。13日・14日に市民会館で開催される講演プログラムがございます。</p> <p>その他、14日の午前中に11の分科会が予定されています。</p> <p>そのうちの10分科会は、健康と食育をテーマにしたパネルディスカッションを企画しております。女性会議は、女性だけが参加できるというわけではありませんので、御都合のつく方は、参加料はかかりますが、お申込みいただきたいと思っております。</p> <p>私からは以上でございます。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>食育に係る分科会の参加について御検討くださればと思います。</p> <p>また、本日の協議会全体を通して、御意見、御質問があればお願いいたします。</p>
委員	<p>前回から今回への変更について、内容や見せ方が大幅に改善されたように感じました。これならば、忙しい方でも、興味のあるコラム、イラストからも読み込むことができると思います。</p> <p>また、私としてはパブリックコメントの結果が気になっていました。私個人としては、素案を読んだ上でも意見がなく、意見提出はしませんでした。それについて、ほかの委員の方々、市民の方々からの動向が気になっていたところです。しかし、委員、市民からも提出意見が0件ということで安心しました。</p> <p>パブリックコメントの周知については、まだまだ改善の余地があるかもしれませんが、今回の素案について、良いものができたと感じております。</p>
委員	<p>何回も会議を重ねて様々な意見を出させていただきました。</p> <p>今後なのですが、市民に少しでも食についての意識や良い影響がでることを願っております。</p>
委員	<p>協議会参加を契機に、園での食育にも力を入れております。また、日本女性会議への参加もいたしますので、私から園の方々へ様々な情報を発信できればと考えております。</p>
委員	<p>素案も大変見やすいものとなりましたね。今後なのですが、毎年苫小牧市で力を入れていく事柄について、ダイジェスト版やチラシを製作し、食育計画についての周知を深められればと思います。</p>

委員	<p>食育推進計画の数値目標の中で、中学生にかかわるものに注目しております。平成33年度に数値化されると思いますので、中学校協会でも取組について周知していく必要があると感じております。</p>
委員	<p>計画素案を見ると、コラム等も見やすくなったと感じます。若い人は食育に関心がある人も少ないと感じていますが、少しでも興味をもってもらえればと思います。</p> <p>できれば、私からも若い人に向けて発信できればと考えております。</p>
委員	<p>計画素案が大変見やすく、わかりやすく書いてあると感じております。苫小牧食品衛生協会についても写真を掲載していただけるということでしたので、さらなる周知を目指していければと思います。</p>
委員	<p>非常にすばらしい計画で、目次も見やすいです。</p> <p>ただ、食に関係して一つ言いたいのが、貧困についてです。貧困家庭における子どもたちの食事が満足に摂れていない。夏休み、冬休みで、子どもの体重が減ってしまうこともあります。市民の方々も、自分に関係ないと考えるのではなく、温かく見守ってあげる姿勢が必要ではないかと思います。</p> <p>せっかくの食育計画なので、貧困世帯の栄養についても市民の方に興味関心をもつていただく機会になればと思います。</p>
委員	<p>一つ確認したいのですが、苫小牧市の総合計画が来年変わると思います。その中で、これから予算をつけてあげていくということでしょうか。</p>
事務局	<p>総合計画の中でも、食育に関しては健康づくりとして位置づけております。予算の話も出ましたが、健康支援課だけではなく、各課で様々な取組を推進できればと考えております。例えば、来年どのようなことをするのかも検討できればと思っています。</p> <p>一つ言えるのが、農業水産課とともに、来年度にセミナー等の実施を考えております。詳細についてはまだお話しできませんが、実施にむけて計画を進めているところです。</p>
事務局	<p>計画の発行は、9月議会を経てからになります。まずは、市民の方々に食育についての普及啓発を図っていきます。具体的には、計画のスローガンである「とまこまいライフ」のリーフレットの原案作成を少しずつ始めています。この中に、計画を手にとり見て見ることが出来ない方もいらっしゃると思いますので、計画に掲載しているコラム、「とまこまいライフ」が何を意味しているのか、丁寧に作成できればと思います。</p>
事務局	<p>最後に、委員から御意見を頂戴しました、子ども食堂についてです。全国的に子ども食堂の数も増え、本州ではNPO法人が発端となって開催しているところもあります。</p> <p>しかし、食材の確保、場所の確保、サポートをしてくれる人材の確保が障壁となり、なかなか本州では実施が難しくなっているようです。</p> <p>本市でも、子ども食堂を開いているところがございますが、そもそも貧困世帯の子どもを集めることに難しさを感じているところです。NPO法人では地域食堂といって、子どもからお年寄りまで、幅広い世代の方に食材を提供する場面がありますが、税金を財源として市が同じことをするには理解が得られないのではないかという意見もあります。</p> <p>また、NPO法人との話合いから、子どもの居場所づくりという観点からも、子ども食堂の開催を検討しています。しかし、現状では実施も難しいと感じている状態です。</p>

委員	食材のことなのですが、協力を申出る場合、どのような手続が必要なのでしょうか。
事務局	こども食堂自体は、いくつかの団体様が主催しております。食材の提供についてですが、我々に御連絡くだされば、我々から団体様に連絡をさせていただきます。
委員	品質上問題がない商品でも、賞味期限が過ぎてしまえば販売できなくなります。非常にもったいないことなので、こういったものを活用できないかと考えております。
事務局	ありがとうございます。ただ、現状では開催の周知も難しいのが課題です。日持ちするもの、保存できるものなら良いのですが、保存が難しければ難しいほど、食材の提供もできなくなってしまいます。
委員	わかりました。この件については、また改めて伺えればと思います。
委員長	ありがとうございます。ほかに御意見はございますか。
委員	私も、寺子屋食堂という貧困世帯の保護者を対象にしたボランティアに参加しております。貧困世帯の中でも、保護者の経済的なプライドや世間体が障壁となり、現実的にこどもを食堂に連れて行けないという話を聞いております。 このような事情から、寺子屋食堂は、保護者にこどもを勉強させるという目的で連れて来てもらい、同時に食事も提供するという内容になっています。 私は、こういった取組についても周知拡大が必要と感じていますし、さらにたくさんのこどもたちに参加してほしいと考えています。
委員長	食育に付随して、こども食堂についての話でした。ほかに御意見、御質問はありませんか。なければ、本日の議事を終了します。

- 3 その他 次回第5回協議会の開催は10月頃を予定。詳しい日時については改めて通知する。次年度以降については、計画推進に関する事項を協議する予定。

#### 4 閉会